

〔答弁〕改築により、試用用BS

○カウントボードの点灯スイッチ盤や放送設備、救護用ヘルメット、エアコン、監視用防犯カメラなどを備えることから、利用者にも負担いただきながら適切に管理していくため、新たに使用料を設定したものである。

〔質疑〕使用料の減免について、変更点はないか伺う。

〔答弁〕使用料の減免については、若者世代が気軽にスポーツを楽しめる環境を整え、競技人口の増加を図ることにより、市民の健康増進を支援していくことを目的としていることから、この減免体系は継続していく。

◎白石市保育園設置条例の一部を改正する条例

〔質疑〕深谷保育園を廃園し、4月から私立保育園（白石みのり保育園）が開園されるが、定員が90名となり、これまでより40名増える。

また、4月から私立の幼稚園が、認定こども園に移行されるが、今後の待機児童の見

込みを伺う。

〔答弁〕令和2年10月1日現在の待機児童は10名である。

市内保育園の入所受付を行い、現在、保育園ごとの利用を調整しているところであるが、定員が増加することから、待機児童の解消につながるものと期待している。

◎令和2年度白石市一般会計補正予算(第8号)(定例会最終日提案)

〔質疑〕医療機関などの負担軽減のため、医療機関等感染症対策支援金の予算を計上しているが、その内容を伺う。

〔答弁〕地域医療および福祉サービスの安定的な確保を図ることを目的として、それぞれの対象業種ごとに、令和3年1月1日時点で市内に対象事業所を有する法人または個人へ、その業種に応じて10万円から100万円の支援金を支給するものである。

具体的には次のとおり。  
○高齢者介護事業所 10万円  
(1法人で複数事業所を運営

している場合は上限50万円)

○障がいサービス事業所 10万円  
(1法人で複数事業所を運営している場合は上限100万円)

○児童福祉施設

私立保育園 50万円

小規模保育事業所、認可外保育施設 10万円

○放課後児童クラブ 10万円

○医療機関

病院 100万円

医科・歯科医院 50万円

調剤薬局 10万円

○私立幼稚園 50万円

スマートインターチェンジ設置推進特別委員会中間報告

定例会初日(12月4日)、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の活動経過について、四電英夫委員長より中間報告がなされました。

報告の概要については、次のとおりです。

令和2年11月19日に関係部課長の出席を得て、スマートインターチェンジの設置に係る現

状について報告を受け、今後の進め方について協議を行なった。

10月23日、「(仮称)白石中央スマートインターチェンジの新規事業化の決定」が国土交通省より発表された旨の報告があった。昨年の準備段階調査の採択からこのような短期間で新規事業化の決定は大変喜ばしいことであり、本特別委員会の活動の大きな成果でもある。

当局から、決定した新規事業化の事業内容や今後のスケジュールなどの説明を受け、着々と設置に向けた関係機関との協議が進んでいるものとの共通認識を持ち、本特別委員会と協議を進め、スマートインターチェンジの位置構造、管理運営形態、期待される効果、利用促進方策など検討を行い、9月8日に国土交通省へ実施計画書を提出した旨の報告があった。

7月には、本特別委員会としても、委員長が当局と共に早期事業化に向けた中央要望活動を行い、国土交通大臣、国土交通省道路局長および高速道路課長などへ「スマートインターチェンジの整備に関する要望書」

